科目ナンバリング	U-LAS03 10007 SB48						
授業科目名<英訳>	外国文献講読（法・英）II-E1 Readings in Humanities and Social Sciences (Law, English)II-E1			担当者所属職名・氏名	法学研究科　教授　　近藤　圭介		
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	外国文献研究			使用言語	日本語
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・後期	曜時限	木1	配当学年	2回生以上	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

法学・政治学に関連する英語文献を講読することにより、必要な専門的知識を習得すると共に、正確に英語の文章を読解した上でその内容を批判的に検討する能力を涵養する。

本授業では、Cambridge University Pressから刊行されているElements in Philosophy of Law Seriesから特定のトピックを選び出して講読することで、法哲学における最先端の議論動向の一端を理解することを目指す。

また、本授業では、以上の文献について、精読を求めるものの逐語訳までは基本的には要求せず、文章全体の構造や主張を適切に把握した上で、その内容を批判的に検討することを主とする。

[到達目標]

・英語文献の読解と分析に必要な力を身につける。
・法・政治に対する哲学的な分析視座を習得する。

[授業計画と内容]

第1回目 イントロダクション
授業の進め方、文献の選定のほか、講読にあたり必要な法哲学上の基本知識の解説を行う。

第2～14回目 テキスト講読
選定された文献を講読する。各回、報告担当者と指定質問者を割り当てる。報告担当者には、事前に指定された箇所の内容の要約と分析が含まれた資料の提出を求める。報告担当者による報告と指定質問者との質疑応答の後に、全体から質問や意見を募り、最後に教員から解説を行う。

期末試験
論述試験を行う。文献の内容に関する読解・説明問題を出題する予定である。

第15回　フィードバック
具体的な方法は、別途指示する。

[履修要件]

外国文献講読（法・英）は専門への導入コースなので二回生以上を対象とする。

[成績評価の方法・観点]

平常点評価（出席と参加の状況20%、要約と資料の提出20%。合計で40%）及び、期末試験（60%）を組み合わせて評価する。

[教科書]

『Elements in Philosophy of Law』（Cambridge University Press）（https://www.cambridge.org/core/browse-subjects/philosophy/elements-in-philosophy-of-law）
Cambridge Elements in Philosophy of Law Seriesについては、現時点で刊行されている書籍は全てKULINEから電子ブックで入手可能である。今後刊行される書籍についても、同様にKULINEから

外国文献講読（法・英）II-E1(2)へ続く↓↓↓

外国文献講読（法・英）II-E1(2)

電子ブックで入手可能になるように手配する予定である。

[参考書等]

（参考書）
授業中に紹介する

[授業外学修（予習・復習）等]

事前の十分な予習を求める。また、関連する文献は授業中に紹介するので、興味があれば手に取ってみることを推奨する。

[その他（オフィスアワー等）]

この科目は法学部生を対象に開講される科目である。履修人数に余裕があれば、法学部以外の学生も履修することが可能だが、法学部事務室で事前申込が必要である。詳細は履修（人数）制限に関するお知らせで確認されたい。

[主要授業科目（学部・学科名）]

法学部